

第二十七回・地域密着型歯科検診（2015年2月）

1. 実施期間

2015年2月11日（水）～2015年2月12日（木）

- | | |
|-------|------------------------------|
| 11日午前 | 準備、ビエンチャン県に移動 |
| 午後 | 看護学校にて資器材授与式 |
| 12日午前 | Vangheua 村に移動、ヘルスセンターにて診療&指導 |
| 午後 | Vangheua 村小学校にて診療 |
| 夕刻 | 首都ビエンチャンに移動 |

2. 実施場所

✓ Vientiane Province

1) Vangheua ヘルスセンター (図1の11)



図1 ビエンチャン県地図、およびヘルスセンターの位置

3. 参加者

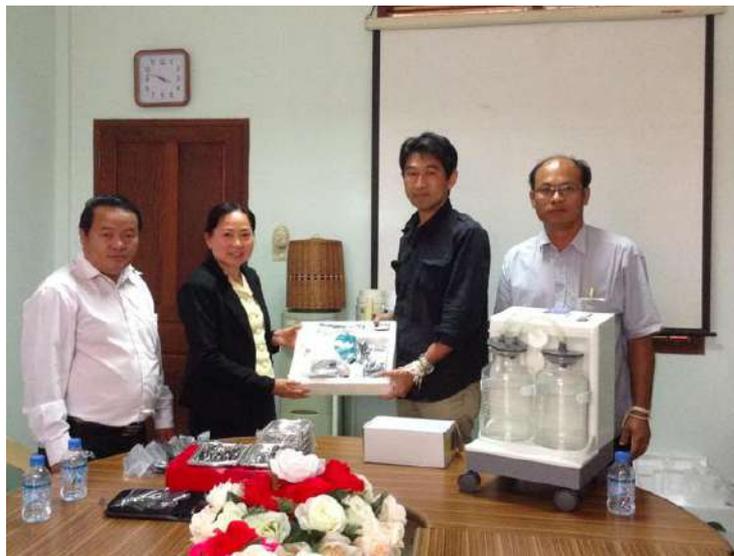
~~大使館 中山様 (1-2日ご参加)~~

- | | |
|--------|--|
| UHS | ① Dr. Vorasack |
| UHS | ② Dr. Nyai |
| UHS-MS | ③～⑦ Master Course Students (5 persons) |
| Driver | ⑧ Mr. Duaugta Thammavongsa |
| OISDE | ⑨ Toshi |

4. 活動内容

1) 看護学校にて資器材授与式

ビエンチャン県看護学校にて、超音波スケーラーなどの歯科資器材の授与式を実施。授与式の挨拶の際、看護学校の校長が、宮田先生への謝意と現在の看護学校での取組みを紹介。我々の事業では普通看護師コースに歯科・口腔保健のカリキュラムを導入したが、他の2つのコース（産婆、上級）でも歯科・口腔保健のカリキュラムを導入したとの事。また、卒業してヘルスセンターに配置された看護師の中には、独自で住民達に口腔ケアの話をしたり、歯科疾患で治療が必要な患者を歯科医のいる地区病院に連携したりと、歯科・口腔保健の担い手として頑張っているとの事。



資器材を受け取る看護学校の校長と事務長

2) Vangheua ヘルスセンターにて診療&指導

直近にも Vangheua 村を訪問していたが、中山さんが僻地に行きたいと言うので Vangheua 村を選択したが、直前になって急用で来られなくなった。事業の診療が盛況である事を見せる為に、予め Vangheua ヘルスセンターの看護師、そして村長に連絡をしてもらい、大勢の住民が来るように呼び掛けを依頼していた。その結果として、通常よりも大勢の住民がヘルスセンターを訪れた。計78名。



順番待ちをする住民

実施内容は基本的にいつも通り。ただ、少しずつ改善を試みている。以下はその改善例。

① 歯ブラシ指導

スケーリングの前に必ず患者に歯磨き方法を指導する。



歯磨き方法を指導するマスターコースの学生

② スケーリングの徹底

教育した看護師にはスケーリング中心の治療をさせる。超音波スケーラーを寄贈しているので、我々が訪問した時以外の日は、基本的に住民に対してスケーリングを行うように指導。



スケーリングを行う看護師

③ 大型バナー

ヘルスセンター訪問時（診療時）に必ず大型バナーを掲揚するようにしている。住民へのアピール、そして誘い込みが目的。バナーの文言は英語とラオス語の併記、そしてロゴは外務省、OISDE、UHS の3つ。日付・訪問場所は記載せず、どこでも使えるようにしている。



4 m × 2 m の大型バナー

④ 消毒用ジェルの利用

手を常に、そして簡易に消毒できるように、消毒用ジェルを利用。



消毒用ジェルを常にテーブルに置く

③ 音楽サービス

自費（Vorasack と持田）で大型スピーカーを買い、順番待ちの人達などの為に音楽を流す。



モン族の音楽を流す Vorasack

以 上